



Hokkaido University
OpenCourseWare

#1 using "open source"

北海道大学オープンコースウェア（北大 OCW）では、北海道大学に所属している教員の皆様からご提供いただいた講義資料を無償で公開しています。この活動をとおして、北海道大学でこれまで長く培われてきた知識を、より広く社会に発信することができます。

北大 OCW では、趣旨にご賛同くださる教員の皆様に、ご自分で作成された講義資料のご提供をお願いしております。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

新規公開コース <http://ocw.hokudai.ac.jp/>

- 「応用数学（2007年度）」（学部専門教育）
- 「科学・技術の世界 心の発達と自己分析（2004年度）」（全学教育）
- 「海洋産業科学演習Ⅰ（水産海洋工学）（2006年度）」（大学院教育）
- 「システム制御工学（2006年度）」（学部専門教育）
- 「高齢者の健康増進と QOL の向上にむけて」（セミナー）

資料を使う —OCWから

講義資料を作る際に、OCWで公開されている資料を探してみてください。これらは実際に講義に使われた資料なので、

1. 資料に組み込みやすい

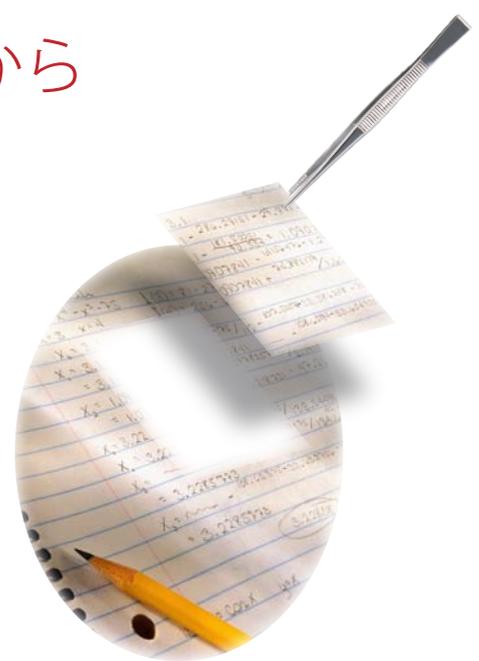
PDF 等のデジタル形式で公開されていますので、お手元のパソコンで編集・加工を行い、利用することができます。

2. 学生にもわかりやすい

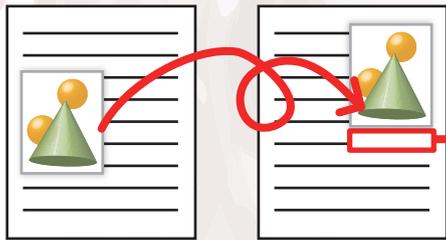
実際の講義で利用された資料が公開されていますので、学生に対して説明することを前提で作成されています。

3. 使い方がわかりやすい

非営利・教育目的の場合には、出典を明示するだけで利用できます。原作者者に確認する必要がありません。



◆OCW を使用する際



クレジットの例

「この資料は、(氏名)により、(タイトル)という表題で作成され、(年)に、北海道大学オープンコースウェアで公開された資料をもとに翻案されたものです。Copyright (c) (年)(氏名)。」

- OCW として提供されている情報は原則として「非営利の教育目的」について、使用、コピー、配布、翻訳および変更が自由に認められます。
- 利用に当たっては申し込み・登録は不要です。

(1) CC ライセンスの使用例

多くのOCWではクリエイティブ・コモンズのライセンスを採用しています。
(<http://creativecommons.org>)

- 以下の条件に従う場合に限り、自由に
 - * 本作品を複製、頒布、展示、実演することができます。
 - * 二次的著作物を作成することができます。

■ 条件は以下の通りです。

- ① 表示 (BY) :
原著作者のクレジットを表示しなければなりません。
- ② 非営利 (NC) :
この作品を営利目的で利用してはなりません。
- ③ 継承 (SA) :
もしあなたがこの作品を改変、変形または加工した場合、あなたはその結果生じた作品をこの作品と同一の許諾条件の下でのみ頒布することができます。



Copyright (c) 2002-2008 MIT
<http://ocw.mit.edu/>

(2) 北大 OCW の例

北大を含むいくつかのOCWではそれぞれ個別の利用条件を制定しており、その条件を踏まえた上での使用が必要となります。



■ 北大の例：北海道大学 OCW の利用条件では、
非営利かつ教育的な目的において、正しいクレジット表記のもとで、

- * 複製・頒布・公衆送信
- * (使用制限資料を除く資料からの)
二次的著作物の創作と複製が可能

(一部要約、正しくは利用条件をご覧ください)

連絡先

〒060-0811 学内便④
北海道大学 情報基盤センター南館内
北海道大学オープンコースウェア

☎ 011-706-3555
✉ contact@ocw.hokudai.ac.jp

Copyright (c) 2006-2008 北海道大学
<http://ocw.hokudai.ac.jp/>